

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ 会報



会長 多賀 学昭
副会長 川上 幸子
幹事 坂田 師通

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

例会場 ホテル泉屋 2F

事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
ホテル泉屋内 TEL・FAX 0983-21-1636

第2308回 令和6年8月8日プログラム

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 点 鐘 | 7. 月初めのセレモニー |
| 2. ロータリーソング | 8. BOX披露 |
| 四つのテスト | 9. 各委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間 | 11. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 出席報告 | |

高鍋ロータリークラブテーマ

『共に語り、共に栄え、共に未来への種を蒔こう』

第2730地区ガバナー 笹山 義弘

中部グループガバナー補佐 戸高 勝利

RI会長テーマ 『ロータリーのマジック』

第2730地区テーマ

『ロータリーのマジックで、ロータリーを楽しもう』

8月の月間テーマ

会員増強・新クラブ結成推進月間

本日の例会案内 *ポリオBOX

*月初めのセレモニー *雑誌紹介

*米山奨学生(鍾梓軒君)来訪

*新入会員卓話-櫻田祐一郎君

*例会終了後理事会開催

次週8月15日(木)は 休会です。

次回例会案内; 8月22日(第2309回)

*シンガポール国際大会報告

*ポリオBOX

*例会終了後プログラム委員会開催

<ガバナー公式訪問>

第2307回 例会内容 (8/1)



笹山義弘ガバナー

戸高勝利ガバナー補佐

口会長の時間

会長 多賀 学昭 君

皆様、本日のご出席ありがとうございます。今日は年一度のガバナー公式訪問として、第2730地区ガバナー笹山義弘様、宮崎県中部グループガバナー補佐戸高勝利様をお迎えしての例会となりました。お二人ともご多用の中のご訪問誠にありがとうございます。高鍋ロータリー

クラブを代表して心より歓迎申し上げます。先ほど例会に先立って当クラブ新会員との懇談会を行なって頂きありがとうございました。終了後はクラブフォーラムとして当クラブの川上幸子君、藤本範行君の発表を予定しておりますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、日本では8月というと、誰もが、戦争と平和について思いを巡らせる季節だという感を強く致します。終戦の日が丁度月遅れのお盆の8月15日日であるということのも不思議な因縁を感じずにはおれません。

今日は原爆に因んで、元東京芸大学長だった日本画家故平山郁夫先生のお話をさせて頂きたいと思ひます。

平山先生は、広島県尾道市の沖にある生口島のお生まれです。お父様の平山峰市さんは早稲田大学在学中熱心に座禅に打ち込んでおりましたが、卒業して平山家に養



子に行くことになりました。ところが養子先の平山家というのは島にある法然寺という浄土宗のお寺を400年前に創建された家で、代々法然寺の総代となる家柄でした。それからの峰市さんは念仏に打ち込まれ、奥さんのお腹に赤ちゃんが出来る度に、奥さんの手を引いて山腹にある法然寺までの長い石段を上ってこられ、「和尚さん、お腹の赤ちゃんに念仏を授けてつかあさい。」と頼まれるのが常だったそうです。後年「その時々親の都合で何度も参らせてもらった子や、一度しか参らなかつた子があるけれど、不思議なことに何回も参らせてもらった子の方がよく手を合わせますなあ。」と述懐しておられたそうです。郁夫さんは幼いころから絵を描くことが好きで、暇さえあれば紙の上に何か描いて遊んでいたようですが、お父さんは「この子は今に日本一の絵描きになる。」と、殴り書きのころの絵から一枚残さずとっておかれていたそうです。小学校を卒業した郁夫さんは広島市の修道中学に進学しましたが、戦争中で授業は殆ど無く、毎日勤勞奉仕に明け暮れておりました。昭和20年の夏休み、広島市内の山の中腹の宿舎で朝食後、手洗いに外に出たところ空襲警報が鳴って、高い空にB29の編隊が見えました。

そのうちの一機の胴が開いてキラキラ銀色に輝ききれいなものが落ちてきたので「何だろう」と思った郁夫さんは「友達にも教えてあげよう。」と宿舎に入って後ろ手に戸を閉めた途端、閃光と衝撃とで気を失ったそうです。

気が付いた時には周囲の何もかも吹き飛び焼けただれて光景が一変しておりました。生き残った生徒たちはその場に集められ「何とかして家に帰れ。気を付けて戻れよ。」と解散が命じられました。仕方なく広島を歩いて尾道の方向へと帰り始めましたが、街の中は文字通り地獄だったそうです。そして喉が渇いて、水を飲みたくてたまらないのですが、水には折り重なった焼死体から流れ出た脂が浮いており、とても飲む気になれず我慢して歩き通し、動いている電車を見つけて乗せてもらい、やっとの思いで尾道、そして生口島まで辿り着いたそうです。

「あの時も一口でも水を飲んで居たら、自分は体内から被爆して間違いなく死んでいたでしょう。」とおっしゃっておられました。中学卒業後、上野の美術学校へ進み画家の道を志し、卒業後は研究生として前田青邨画伯の副手を勤めていたのですが、昭和27年に院展に入選したきりその後なかなか芽が出ない。昭和35年ごろから原爆の後遺症で体力が無くなりすぐ寝込んでしまう。白血球が半分に低下し、貧血状態が続きました。「自分はもう駄目かなあ」と絶望しかかっていた時、ある新聞記事が目にとまりました。それは「東京オリンピックの聖火をシルクロード経由で運んだらどうか」という内容のものだったそうです。そのとき、「そうだ。自分は仏様のお蔭で命を助けられたのだった。仏様の教えを題材にした絵を描こう。」と思い付かれたのだそうです。そしてひと夏山に籠り死を覚悟で取り組んだのが、砂漠を旅し、疲れ切つてオアシスにたどり着いた三蔵法師とその愛馬の姿を描いた「仏教伝来」という作品でこれが大変な評判となり、出世作となりました。

その後は「平和」と「シルクロード」をテーマにした作品を次々に発表され、シルクロードの文化財保護にも力を尽くされましたが、シルクロードにスケッチ旅行に行ったときは摂氏50度の砂漠の中を車で何時間も走り、遺跡を見つけると車を止めて、車の影でスケッチします。

「ぼやぼやしていると死んでしまうので、何も考えずにナムアミダブ、ナムアミダブと念仏しながら鉛筆を動かすのです。」と言われました。平成21年(2009年)に79歳で亡くなりました。平山先生はこうして原爆に会いながらも奇跡的に生き延び、画家として自分の画業を追求され、平和と文化保護の為に力を尽くされました。

話は戻りますが、核兵器は兵器とは言えません。戦闘員どうしが戦うための武器ではなく、赤ちゃんもおばあちゃんも、主婦も女学生も皆殺しにする大虐殺用の『凶器』であります。こんなものの存在を許してはなりませんし、ましてそれを使用することは人類のみならず生きとし生けるものへの犯罪です。世界唯一の被爆国である日本はそのことを世界に向かって強く糾弾する権利と義務があると私は信じております。

□幹事報告<文書案内>

*会員増強セミナー開催

日時 2024年9月14日(土)

13:30~15:30

場所 メインホテル

登録料 1,000円

*ガバナー公式訪問のお礼

*公式訪問報告書の提出のお願い(集合写真+コメント)

幹事 坂田 師通 君



□ガバナーアドレス

第2730地区ガバナー
笹山 義弘 様

1. 公式訪問の意義

ガバナー公式訪問は、ガバナー自身が地区内の各ロータリークラブを、個々のクラブまたは複数クラブのグループとして、以下のような目的をもって訪問するものである。

- ・ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる
- ・少数クラブ、あるいは問題を抱えたクラブに特別な関心を払う
- ・奉仕活動参加へのロータリアンの意欲をかきたてる
- ・クラブの定款と細則が、ロータリーの組織規定を順守していることを確認する
- ・顕著な貢献をした地区内のロータリアンを、ガバナー自ら表彰する
- ・ガバナーあるいはガバナー補佐は、公式訪問の際にクラブ目標への進展状態を確認すべきである。訪問は、ガバナー出席の効果が最も高まるよう、加盟認証状伝達式、



入会式、新会員オリエンテーション・プログラム、表彰式、特別プログラム、ロータリー財団行事、都市連合会合などの行事とあわせて行うべきである。多クラブ合同、あるいは都市連合会会合においては、ホストクラブに限らず、全参加クラブを挙げての出席を強調すべきである。ガバナーはまた、地区がクラブをより効果的に支援する方法について、クラブからの意見を求めるべきである。

2. ロータリーとは（入会してない地域のリーダーに向けて）
※ロータリーについて、あなたがストーリーテラーです。

＜ロータリーの活動＞

切迫した問題が山積みとなっているこの世界で、私たちは単なる傍観者ではなく、自ら行動する責任があると考えています。

ロータリーは以下の分野に重点を置いて活動しています。
「七つの重点分野」

- ・平和の推進
 - ・疾病との闘い
 - ・水と衛生
 - ・母子の健康
 - ・教育の支援
 - ・地元経済の成長
 - ・環境の保護
- ＜ロータリーの使命＞

ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。

＜ロータリーのビジョン声明＞

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

3. 2024-25年度ステファニーA. アーチック RI 会長テーマ
「The Magic of Rotary」（ロータリーのマジック）

4. 2024-25年度 地区方針
「ロータリーのマジックで ロータリーを楽しもう」

- ・ポリオ根絶
 - ・平和を優先する
 - ・各クラブがマイロータリーのクラブセントラルに計画目標を100%インプットする。
- 行動計画を反映した目標をクラブセントラルに掲載することにより

- ① 参加者の積極的なかわりを促す。
- ② 参加者の基盤を広げる
- ③ クラブのインパクトをより大きくする
- ④ クラブの適応力を高める

5. 3 Year Lolling Targets/Plan について
行動計画の 4 つの優先順位事項に沿った形で 2024. 7. 1 からの向こう 3 年間の目標を定め 毎年、向こう 3 年間の計画を見直していく。

6. ジャパンポータルサイトの活用
www.japanrotary.club



7. 地区基本方針と重点事項

- (1) 会員基盤の維持と会員増強
- (2) クラブの文化を醸成支援
- (3) 奉仕活動への支援（職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・RAC・IAC）
- (4) 公共イメージの向上

(5) ロータリー財団への理解と実践

(6) 米山記念奨学会への協力

＜クラブ優秀賞チャレンジへの推奨＞

クラブがクラブ優秀賞の目標に取り組むことで、ロータリーのマジックが生まれ、ロータリーをみんなで楽しむことができます。全クラブがクラブセントラルに目標を登録してクラブ優秀賞にチャレンジし、13項目以上の目標達成を目指しましょう！

8. ラーニングセンターの活用

マイロータリーのラーニングセンターの新しいカタログです。QRコードからページを開いて皆さんの役職に合わせてラーニングをチャレンジしてください。



9. いつでもどこでも「ロータリー」

手持ちの携帯電話に、マイロータリー、ガバナー月信、ロータリーの友、2730 地区ホームページ、ジャパンポータルサイト等をホーム画面に張り付けて、いつでも閲覧できるようにしましょう。



ビジター 増田秀文様



宮日高鍋支局長 新坂英伸様

□BOX披露 親睦活動委員長 高橋 康朗 君
＜ニコニコ・財団・米山BOX＞

【多賀学昭君】笹山ガバナー、戸高ガバナー補佐の公式訪問を歓迎いたします。どうぞよろしくお願い致します。



【坂田師通君】笹山義弘ガバナー高鍋ロータリークラブ

によろこそ。本日はよろしくお願い致します。

【井上博功君】笹山ガバナー、戸高ガバナー補佐をお迎えして。よろこそ高鍋ロータリークラブへおこしいたできました。ありがとうございます。

【藤本範行君】笹山ガバナー、戸高ガバナー補佐よろこそはるばる高鍋RCへ！ 本日はご指導を宜しく願致します。

【野添勝久君】笹山義弘ガバナー本日は高鍋RCへよろこそ。宜しく願致します。

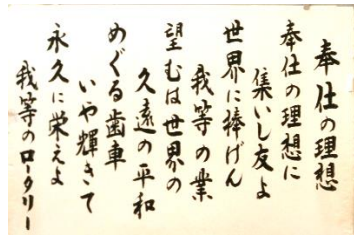


出席報告

出席委員長 児玉 幸則 君

出席状況 (8/1)

会 員 数	38 名
出席会員数	33 名
ホーム出席率	86.84%
修正出席率	92.11%



ソングリーダー橋口君



クラブフォーラム

- ① 高鍋ロータリークラブの強みと弱み
- ② 創立 50 周年に向けて



藤本 範行 君



川上 幸子 君



笹山ガバナーと令和入会の会員との懇談会



ホテル泉屋

パスト会のご案内

日時：令和6年8月22日（木）18：30～
 場所：ホテル泉屋 2階
 議題：会長ノミニー選出の件